

平成 30 年 9 月 25 日

春里中学校 P T A 会 員 様

さいたま市立春里中学校
P T A 会 長 相澤 秀行
校 長 松井 秀史
総務部副部長 原口 圭

「防災科学教室」開催のお知らせ

日頃から P T A 活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

春里中学校 P T A では、下記の通り「防災科学教室」を開催することになりました。本教室は、国立研究開発法人・防災科学技術研究所の研究者が講師を務め、災害発生のメカニズムや地域で起こりうる災害の危険性と災害時の適切な行動などについて、科学実験を交えながら**楽しく学ぶ**という取り組みです。今回、**地震**をテーマとして「防災科学教室」を開催しますので、多くの方々の参加をお待ちしております！



【防災科学教室開催イメージ】

記

日 時 : 平成 30 年 11 月 9 日 (金) 18 時 30 分～20 時 30 分 (開場 18 時 10 分)

場 所 : 体育館

タイトル : 「Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室」 × 「地域の災害危険性を学ぼう」

内 容 : 液状化、地震時の建物共振現象などの科学実験・体験
地域で起こりうる地震災害の危険性と地震災害時の適切な行動

講 師 : 国立研究開発法人・防災科学技術研究所 納口恭明様、李泰榮様 (別紙参照)

対 象 : 生徒、保護者 (生徒の兄弟姉妹含む)、先生

そ の 他 : 生徒が部活動後、帰宅せずに参加する場合は、保護者の参加を原則とします。
体育館フロアに直接座って受講することになりますので、服装等にご注意下さい。

申 込 : 10 月 12 日までに下記メールアドレス宛に参加人数および参加者の内訳をお知らせ下さい。
k-guchi@rd6.so-net.ne.jp (総務部 原口圭)

【記載例】参加者 3 人 (生徒 1 人、保護者 1 人、生徒兄弟 1 人)

※人数把握をするため、参加連絡後に欠席する場合もお知らせ下さい。

※10 月 13 日以降の申し込みも受け付けます。

以上

■講師紹介

◇国立研究開発法人・防災科学技術研究所 専門職 納口恭明（のうぐち やすあき）様



1981年北海道大学大学院理学研究科地球物理学専攻博士後期課程修了、理学博士。元独立行政法人防災科学技術研究所総括主任研究員。

ピンポン球数十万個を使った模擬雪崩実験など、雪と氷の災害研究をするかたわら、雪崩シミュレータ「ナダレンジャー」地盤液状化実験装置「エッキー」、固有振動「ゆらゆら」などを開発し、自ら「Dr. ナダレンジャー」に変身して、幼児から専門家までを対象にした災害科学教育活動を実施しています。定年後の現在、同研究所と契約する専門のナダレンジャーとして、年間200回以上、全国各地の科学館、学校（幼稚園～大学院）、ショッピングセンターなど、人の集まるところを回って、実験教室を行っています。

◇国立研究開発法人・防災科学技術研究所 主任研究員 李泰榮（い てよん）様



工学博士。自治体、地域コミュニティ、小中学校、社会福祉協議会等の様々な地域主体と協力して、地域コミュニティの防災活動をはじめ、地域と学校が協力した防災教育に関する実践的な手法とツールを研究開発しています。

日本は、山、川、海のようなたくさんの自然があり、おいしいお米やお魚、癒しの温泉などに恵まれた国です。しかし、これらの自然環境は、地震、津波、風水害などいろんな災害も引き起こします。こういった災害に備えるために、様々な情報（専門知、地域知、経験知）を活用して地域で起こりうる自然災害の危険性を確認したあとに、家や学校、周辺をよく行く場所、よく遊ぶ場所に居るときに災害が起こったことを想定して、安全な避難方法や避難場所、待ち合わせ場所など、災害時の適切な行動について学ぶ教室を行っています。